４歳児クラス ＜９月 ゴッホ「ひまわり」＞



やさしいK-ART

テーマ《ゴッホ「ひまわり」ワーク》

ゴッホのひまわりの模写をします。細部までよく観てゴッホの筆使いを表現しましょう。

＜テーマを決める＞

夏の花というと何？みんなも見たかな？いろいろなところで大きなひまわりを見かけるよね。ひまわりって、みんな同じ黄色い花なのかな？よく見てみると、大きな花、小さな花、黄色やオレンジっぽい花、元気に上を向いている花、少し下を向いている花もあるよ。
ゴッホという画家も、ひまわりをよく見て、たくさんの《ひまわり》を描いたんだって。
今回は「ひまわりって、どんな色や形をしているんだろう？」ゴッホの《ひまわり》をよく観察しながら、自分たちのひまわりを作ってみよう。

＜問いを考える＞

「ひまわりって何色かな？」
→「黄色！」
→「本当に全部黄色かな？よーく見てみよう」
と、掘り下げる質問をしていくことで、観察を深めていきましょう。
そこから「真ん中は何色？」「花びらは全部同じ形？」「どのひまわりが一番大きい？」「上を向いている花と下を向いている花があるね。どうしてだと思う？」「ゴッホは黄色を一色だけ使ったのかな？」など、見る→気づく→もう一度見る”という問いかけをしていきましょう。

1. フレーム
2. パーツ２種類
3. ひまわりプリント
4. キットパス
5. ベビーパウダー
6. スティック糊



＜環境をデザインする＞

ひまわりの大きさや向き、花びらの形などをじっくり観察し、それぞれの違いに気づけるよう、複数のひまわりのパーツを準備する。
複雑な花の形を一から描くのではなく、パーツを用いることで、4歳児でも色や質感の違いを観察し表現することに集中できるようにした。
キットパスは黄色だけでなく、オレンジや茶色、緑などを重ね、ベビーパウダーで色どめをしながらぼかすことで、同じ「ひまわり」の中にもさまざまな色があることを発見できるようにする。
完成後は、みんなで作品を見比べて、「同じひまわりを作ったのに、みんな違うね」という気づきにつなげていく。

４歳児＜９月ゴッホ「ひまわり」＞実施報告












9/2　年中：8名　《ゴッホ「ひまわり」》
ゴッホのひまわりの見本を見せて、「この花なーんだっ」と質問すると「ひまわり！」と元気よく答えてくれました。
「ひまわりの真ん中のところはなんだろう？花びらがないひまわりもあるね～」という問いに、「タネかな？」とひまわりを思い出しながら答えてくれました。

制作では、緑系のキットパスを使い花瓶を塗りました。黄緑の上に黄色が塗ってあることに気付き、上から重ねて塗ることができました。花びらを塗る際には「外側に向かって塗るよ」と説明したことをしっかり聞き、外に向かって元気な花びらを表現することができました。タネの部分は点を打って表現しました。1色だけでなく、見本をよく見ながら複数の色を使って塗ることができました。お話ししながら進める時間も楽しいのですが、今回はみんなとても集中しており、部屋がしーんとするほど夢中になっていました。粘り強く最後まで手を動かし、完成した作品を見た時の表情はキラキラ。
最後までやり遂げたことが自信につながったようにも感じました。
ひまわりの作者である「ゴッホ」の名前もしっかり覚えて、最後に写真撮影をしました。

5歳児クラス ＜9月 モネ「黄昏」＞



やさしい K-ART

テーマ《モネ「黄昏」ワーク》

大運河、聖堂、金色の空。この３つだけという大胆な構図で運河に浮かぶ都市ヴェネツィアを表現しましょう！

＜テーマを決める＞

空の色って何色だろう？「空は何色？」って聞かれたら、「青！」って答える人が多いよね。でも、朝の空、昼の空、夕方の空を見てみると、本当にずっと同じ色かな？夕方になると、青かった空が黄色やオレンジ、赤や紫に変わっていくことがあるよ。しかも、その色は一つずつ分かれているのではなく、少しずつ混ざり合っているみたい。
モネという画家は、そんな一瞬一瞬で変わっていく光や空の色をよく観察して絵にしました。
「空にはいくつの色があるんだろう？」
「色と色が重なったら、どんな色になるんだろう？」
モネの《黄昏》を見ながら、変わっていく空の色を探して、自分たちでも表現してみよう。

＜問いを考える＞

8月のSKYは「空にはどんな空？どんな雲がある？」という空の観察**でしたが、今回はモネの作品を通じてさらに一段掘り下げて、**「光によって色はどう変わる？」とします。
「空って本当に青だけかな？」「夕方の空を見たことある？何色だった？」
「青から夕焼けになる途中は何色だろう？」「モネの空には何色あるか探してみよう！」
「青と黄色が重なっているところは何色？」「夕日の色は、水にも映っているかな？」
「同じ景色でも朝・昼・夕方で色は変わると思う？」
「今日の夕方、本物の空も見てみよう。何色見つけられるかな？」

1．フレーム
2．キットパス
3．ベビーパウダー
4．スティック糊
5．黒画用紙（目安線入り）
6．海パーツ
7．見本空パーツ



＜環境をデザインする＞

夕暮れの空には一つではなく、青・緑・黄色・オレンジ・赤など、さまざまな色が重なっていることに気づけるよう、モネの《黄昏》と空の見本を用意する。
黒画用紙の上にキットパスでたくさんの色を「クルクル」と重ねることで、「色と色が重なるとどうなる？」を実際に試しながら、夕暮れの空の変化を表現できるようにする。
さらにベビーパウダーで磨くことで、重ねた色がやわらかくなじんでいく変化も体験する。海や建物はあらかじめパーツとして用意し、細かな形を描くことではなく、「光」「色」「色の重なり」を観察し、表現することに集中できる環境をつくる。

5歳児＜9月モネ「黄昏」＞実施報告









9/2　年長：9名　《クロード・モネ「黄昏」》

8月に実施した光の透かし絵「SKY」の話をした後、モネの黄昏を見せると「わぁ～！キレイ！」と目がキラキラ。
「この空はいつの空かわかるかな？」と問いかけると「夕焼け！」と絵の雰囲気を感じ取っていました。
「空の色が変わるのがきれいだね」「空が水に映ってる！」とさまざまな気付きもありました。

制作では、上から順に空を塗っていきます。
キットパスをくるくると動かして塗り、見本をよく観察しながら「次は何色かな？」「青の次は緑だ」
「オレンジの次は赤だね」などお話ししながから進めました。
今までキットパスを指で伸ばすことが多かったのですが、今回は指で伸ばさず、キットパスを上から重ねて塗ることで
グラデーションを表現しました。どんどんキレイになっていく空を見て、「もっとこうしてみよう」と根気強く塗っている姿に
成長も感じられました。最後はみんなの作品を並べて、お互いの作品を見て楽しみました。